

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	13
事業名	陸上競技場経費	会計	款	項	目
		一般	10	6	2
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名	スポーツ振興係	
	3-1-4	スポーツの振興			
主要施策	①スポーツ施設の整備充実・有効活用				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、施設の計画的整備と利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
指標	1	年間利用者数	33,251	40,260	39,431	人	→	40,000
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成30年度（決算）		令和元年度（決算）	令和2年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					14,696	15,558	6,835	
財源内訳	直接事業費A				13,754	14,550	5,845	
	うち一般財源				5,701	6,725	5,845	
人件費（千円）B					942	1,008	990	
内訳	一般職員（人・千円）		0.14	924	0.15	990	0.15	990
	臨時職員（人・千円）		0.01	18	0.01	18	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	指定管理者制度を活用して、施設の適切な維持管理に努める。	③取組の課題	陸上競技場とサッカー場との相互の利用等についての課題がある。
②R1年度に実施した取り組み	利用料収入増をはかるため、サッカーの公式試合(有料試合)の誘致等を行った。	④今後の改善計画	陸上競技場とサッカー場との相互の利用についての検討を行う。